

History of Pop & Records



入場無料

開催日 : 2014年

7月18日(金) ~ 8月8日(金)

※7月21日(月)は閉館日となります

場所 : 金沢工業大学
ライブラリーセンター 1F 展示室

時間 : 平日 9:00 ~ 22:00

土曜日 9:00 ~ 17:00

日・祝 10:00 ~ 17:00

※8月4日(月) ~ 8日(金)の期間は17:00で閉館となります

お問合せ : 金沢工業大学 PMC

〒921-8501

石川県野々市市扇が丘 7-1

☎076-294-6437

主催 : 金沢工業大学 PMC

協力 : 金沢蓄音器館

ポピュラー・ミュージックとレコードの歴史展

Prologue ~Great Technology, Shock of Rock'n'Roll & Pop Explosion

ポピュラー・ミュージックと

レコードの歴史を俯瞰する

偉大なテクノロジー

ロックの衝撃

私たちは現在、インターネットによる配信でボタンひとつで手軽に音楽が楽しめます。

音楽そのものの歴史は有史以前まで遡ることができます。

道具の発達とともに、様々な材質の様々な楽器が作られるようになりましたが
メロディやハーモニーを求める人に伝達するには、語り伝えるか書き記すしかありませんでした。

音楽に需要ができ、メロディやハーモニーを作った人（作曲家、編曲家など）の演奏や意図を書き記したものが
それが‘楽譜’です。

楽譜は書き写し、あるいは口伝で音楽を伝達してきたわけです。

やがて楽譜の伝達スピードは、ある発明によって一変します。

それは楽譜だけでなく、世界のすべての知識伝達速度を一変させてしまいました。

1450年頃、ドイツのヨハネス・グーテンベルクによって活版印刷技術が開発されたのです。

それまですべての知識は口伝か写本として伝達されるのみで

その速度は遅かつ知識は限られた人々のみの占有物でした。

活版印刷の発明は、本の大量生産を可能にし、知識流通量の爆発的な増大と一般化をもたらしたのです。

19世紀後半に‘レコード’が登場するまで、音楽は長い間楽譜で流通してきました。

そして迎えた20世紀、人類は科学技術のダイナミックな進歩と社会構造の劇的な変化の中、音楽もかつてない

クリエイティブな時代を経験することになります。音楽がレコードという‘商品’となり、アートと結びつき

‘音楽産業’となって中産階級のあいだにポピュラー・ミュージックが大爆発した20世紀。

その威力は、それまでの価値観を木端微塵にしてしまうほどの破壊力がありました。

本展はPMCの膨大で詳細なデータと展示物でポピュラー・ミュージックとレコードの歴史を俯瞰する展覧会です。



PMC
Popular Music Collection

場所：金沢工業大学ライブラリーセンター 3F

時間：平日 8:30 ~ 22:00

土曜日 8:30 ~ 17:00

日・祝 10:00 ~ 17:00

※学国事情により開館時間の変更がある場合があります。

金沢工業大学 PMC

PMC (ポピュラー・ミュージック・コレクション) は、金沢工業大学ライブラリーセンター3Fにあります。ロック、ジャズをはじめ、あらゆるジャンルのアナログ・レコードを中心に20万枚以上を所蔵しており、そのすべてが全国の方々からのご寄贈によるものです。レコードやCD等を鑑賞していただくにはボディ・ソニック (体感音響装置) を設置しており、ご自分のレコードやCD、ポータブルオーディオプレイヤーを持ち込んで聴くこともできます。PMCは、本学学生にとってのリラックスゾーンであるとともに、一般の方もご利用いただける施設です。一般の方のご利用は、ライブラリーセンター1Fインフォメーションまでお申し出下さい。

交通アクセス: 金沢工業大学 〒921-8501 石川県野々市市扇が丘7-1
http://www.kanazawa-it.ac.jp/about_kit/ogigaoka.html

HP: www.kanazawa-it.ac.jp/kitlc/guide/pmc.html
Facebookページ: www.facebook.com/pmc.kit